

《群馬県立伊勢崎商業高校書道授業作品：指導者は須田章七郎先生》



大字作品「投」

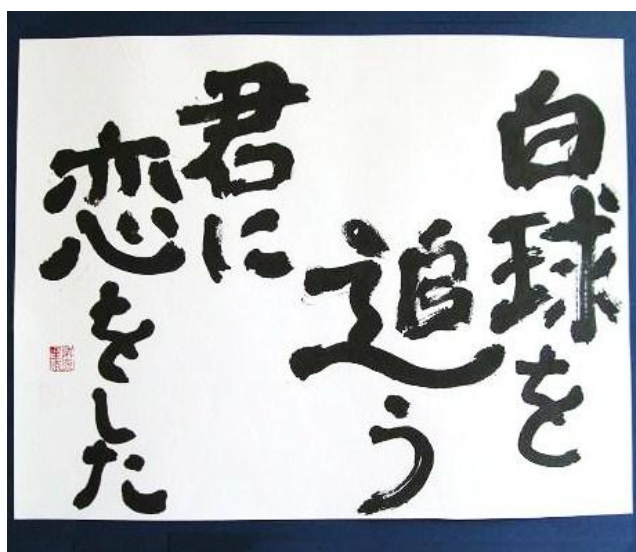
テーマは人間を選んだ。何事にも投げやりな人生を送らないように。

何事にも本気で直球を投げるぐらいの人生を送れるようにと思い選んだ。でかい筆は難しかったけど、なんかすごいカッコいい字が書けた。(高橋)



大字作品「凜」

自然というテーマから凜という字に惹かれてこの字を書こうと思った。文字の太さに強弱をつけようとしたが、なかなか上手くいかなかった。でも貴重な体験ができてよかった。(瀬谷)



詩文作品「夏」

白球を追っているのを出たくてかすれて勢いのある感じにして逆筆を使って書きました。(栗原)



高校生活を漢字一字で表現した作品「激」

高校3年間は部活と検定の勉強に追われた激闘の3年間という感じだったので「激」にしました。全体的には力強さを強調したかったのでなるべく激しさを意識しました。(市場)